

愛媛県西条市	●活動名	●関係する学校名
	田滝地域学校協働活動	西条市立田滝小学校

協働活動開始年度	平成 16 年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和6年4月1日設置予定	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—			
	—	放課後子供教室	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数			
	4人	2人	2人			
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	有	有
	89人					
参考URL	二					
●連絡先	徳田公民館		☎ 0898-68-7027			



●活動の概要・経緯  
 現在人口238人、児童数12人の田滝地区は農業が盛んで、あたご柿は全国有数の品質と出荷量を誇っている。少子高齢化により、平成15、16年度は入学児童が「0」となった。地区自治会は地域の核である小学校が無くなるという危機感を持ち、平成16年に「明日の田滝を考える会」を発足させ、学校と一緒に学校の存続を市に訴えた。平成21年度に通学区の自由化特例校として認定され、校区外就学が5名になるなど実績もでき、学校と地域が一体感を味わうことができた。それ以降、毎月「明日の田滝を考える会」を開催し、学校・地域・保護者・公民館等が連携・協働して伝統行事の伝承に努めたり、ICTを活用した遠隔合同授業に取り組んだりして地域課題の解決に努めている。「田滝だからできる 田滝にしかできない教育」に向けて活動を行い、その魅力を収穫祭やホームページ等で市内外に継続的に発信し、地域活性化にも繋がっている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

〈お簾踊り〉 県無形文化財の指定を受けている田滝地区の伝統芸能「お簾踊り」は、400年以上前から黒滝神社に奉納される田滝独特の雨ごい踊りである。小学校入学時にお簾踊り保存会から扇子一式が渡され、全児童が保存会員の指導を受けて、地域ぐるみで伝統芸能の継承に努めている。平成12年頃から週1回夜間に太鼓や踊りの練習を行い、三世代で踊りを継承していきける仕組みを作っている。平成27年度から、学校行事「地域の人に学ぶ会」でお簾踊りの歴史や踊りを学び、盆踊り大会や地域ぐるみ運動会をはじめ、他地区の敬老会や市公民館フェスティバルでも踊りを披露し、市内外でお簾踊りの紹介に努めている。

### 【実施に当たっての工夫】

「明日の田滝を考える会」で学校の課題や要望について学校と地域が検討し、学校や地域の未来を見据えて活動している。行事後には地域住民・教員・児童が交流会を持ち、絆を深める場を設けている。公民館では地域ぐるみの運動会等を行い、連携・協働して地域づくりの支援を行っている。また、収穫祭や小学校のホームページ・PRチラシを通じ、継続した魅力発信に努めている。

### 【関係機関・団体等との連携状況】

田滝の収穫祭では、自治会・小学校・婦人会・老人クラブなどで実行委員会を構成しており、JA周桑や田滝青果出荷組合、丸滝農産等の協力を得ている。学習面では、地元の丹原高校の生徒と教員が出前授業に訪れ交流を行ったり、ICT教育支援では市教育委員会と連携を取りながら実施したりしている。放課後子ども教室の運営委員に児童クラブ指導員も入っており、放課後等の子どもの活動を児童クラブと一体的に取り組んでいる。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

誕生日を迎える独居高齢者宅に全校児童が訪問し、歌や手作りプレゼントを渡す「ハッピープロジェクト」をはじめ、地域住民との交流や体験活動を通じて生き方を学び、生きる力を育てている。地域住民にとっても、児童との交流は生きがいになっている。地域による学校支援の充実が、学校による地域貢献に繋がり、地域と学校の信頼関係がより強くなった。地域全体で子どもを育てる基盤ができ、優しくたくましい子、地域や人を大切にする子に成長している。ICT教育支援では、近隣小規模校4校との遠隔合同授業を通して、教師の授業改善に役立ったり、児童の学びの質が高まったりしてきている。「田滝だからできる 田滝にしかできない教育」を目指し、地域と学校が連携・協働した組織的・継続的な仕組みづくりが構築され、地域も活性化されている。

## ●その他

放課後子ども教室「タタッキー子ども教室」では教員OBや保護者、地域の方等の協力を得て、放課後にプログラミングや軽スポーツ・手芸を、土曜日には、東予園芸農業協同組合と連携して実施しているフラワーアレンジやトルペイント、クッキーデコなど多様な活動を行っている。



「お簾踊り」地域の保存会や「地域の人に学ぶ会」の方とお



小学校の協働で実施したプログラミング